

米国の関税措置に関するアンケート集計

2025年6月25日

薩摩川内市貿易振興協会

薩摩川内市 産業戦略課

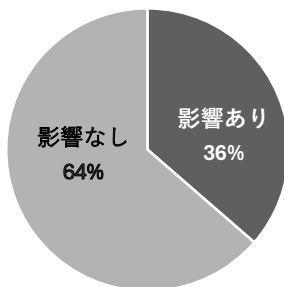
昨今の米国の関税措置等により、川内港を取り巻く情勢は今後大きく変動する可能性があり、現時点における「米国の関税措置による川内港への影響」を把握することを目的にアンケート調査を実施した。

■調査方法：訪問・電話によるヒアリング、メールによる調査。

■時期：令和7年5月9日(金)～6月9日(月)

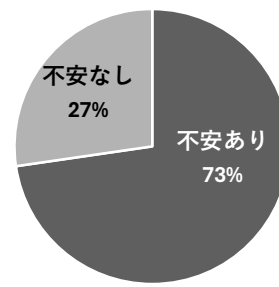
■対象者：川内港利用事業者

1. 米国関税措置による影響の有無



依頼数(社)	回答数	影響あり	影響なし
28	22	8	14

2. 米国関税措置による不安の有無



依頼数(社)	回答数	不安あり	不安なし
28	22	16	6

■影響ありと回答した8社の詳細内容

☆輸出取引の停滞・減少

☆価格下落・需要減少

☆市場の停滞・不透明感

- ・輸出業務の停滞や減少が発生。
- ・価格や需要の下落が顕著で、原材料や製品の注文数・価格がともに減少。
- ・市場全体が不透明で停滞しており、今後の見通しが立てづらい状況。

■不安ありと回答した16社の詳細内容

☆直接的な経済的影響(コスト増・価格変動、物流遅延、需要減少)

☆先行きの不透明感(米中関係、米国政策、国内外経済の冷え込みの可能性)

■回答企業が取り組んでいる対策内容

☆輸出先・仕向け地の多様化

- ・関税リスクのある国を回避して、安定的な取引ルートを確保する

☆事業形態・取引内容の工夫

- ・より低リスクかつ収益確保できる業務スタイルへの転換

☆顧客対応・情報収集

☆対応中・未定・静観

- ・情報が不確実で、現時点では判断材料が不十分な可能性あり